

# すべての教職員のみならず 今年もよろしくお願ひします

# 風通しのいい職場を一緒につくいませんか

# はばたき

道高教組札幌支部  
(札幌市中央区大通西12丁目  
北海道高等学校教職員センター  
3階)  
TEL 011-271-5875  
FAX 011-271-5895

新学期がスタートしました。高教組札幌支部は今年度もこの「はばたき」で職場のみならず、必要情報を提供し、子どもたちと教職員の権利を守るために奮闘する決意です。ご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。

うれしい報告がありました。ある学校で異動を機に職場の組合員が減ってしまったことを憂いた50代の元組合員の方々が、組合に復帰することを決意してくださったということです。こんなうれしいことはありません。

毎日、目の前にいる子どもたちのために教材をつくり、よい授業をつくらうとする教員は目立たず、校務分掌で学校経営に結びつく業務を達成し「求められる行動が全て確実にとられており、当該職位として特に優秀な能力発揮状況である」教員、「今期当該ポストに求められる水準をはるかに上回る役割を果たした」教員が高い評価を受けるようになりました。しかし、私

私の先生にならうと思った二十数年前、今のような職員室の状況は想像していませんでした。教員の仕事は「授業づくり」であり「子どもと向き合うこと」が最も大切だと今も思っています。しかし、現在特別支援学校に勤めている、最近気になることの一つが「職場内が、役職によってヒエラルキー化しつつあるのではないか？」ということ

教育の仕事に評価制度は馴染まないと思っています。半年や一年では現れない結果が数年後、数十年後に現れるのが教育だと思っています。そのため、目の前にいる子どもとの時間を大切に、よい授業を日々重ねていくことができる職場づくりが大切だと思えますし、人事評価によって同僚の序列化が進んだり、仕事の種類

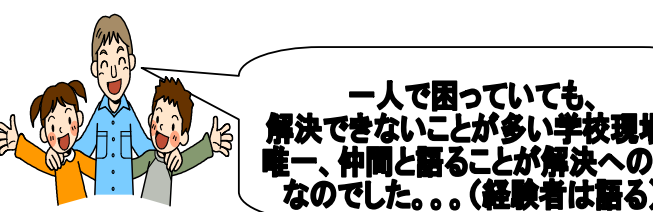
「教育勅語 礼賛教育のみならず、子ども教職員も大切にしたい」  
「さくら高教組会報」

「子ども人事評価は学校が」

真駒内養護学校 渡辺 見美

# 第38回 春の学習交流集会以案内 道央ブロック(札幌・小樽・後志3支部合同)「はるかく」

職場の教職員の皆さん、こんにちは。この学習交流会は、新たに教育現場で働きはじめた方や異動で新しい職場の仲間になった皆さんを心から歓迎し、教師という職業や「学校・職場づくり」について、ごいっしょに考え学習する場として高教組札幌支部、小樽支部、後志支部が合同で毎年企画しています。



# 障害児学校部主催の「はるかく」

【日程】  
5月27日(土) 1日日程です。  
第1部 10:00~17:00  
《基調報告》10:10~12:50(予定)  
「人間を大切にする仕事  
~子どもが笑顔になる学校~」  
講師 三木 裕和さん(鳥取大学教授)  
...昼食休憩...  
《全教共済学習会》  
《実践交流座談会》  
第2部 交流会(参加費1000円程度)  
【ところ】厚別区民センター2F「区民ホール」  
第2部、「いろはにほへと」  
【費用】第1部のみは無料です  
無 料:新採5年目までの方・期付・転入者、各分会共済担当者  
\*組合員には旅費実費支給します。

【日程】  
5月27日(土) 15:00~15:30 受付  
15:30~16:30 全体講座  
「ストレスをためずに笑顔で  
教員生活を送るには」  
講師 木谷弥彦さん(倶知安高校)  
《休憩・入浴・食事》  
18:30~19:30 ゆいまーる報告会  
「沖縄・平和・青年教職員のつどい」  
報告者 小樽工業・清水さん  
札幌南・小笠原さん  
19:30~ 交流会(お酒を飲みながら楽しく)  
5月28日(日)  
8:30~9:00 共済説明会&閉会集会  
【会場】小樽天狗山山麓館  
http://www.tengu.co.jp/honkan/  
(小樽市最上2丁目16-18)  
【費用】1,000円(交流会参加の方)  
無 料:新採5年目までの方・期付・転入者、各分会共済担当者  
\*組合員には旅費実費支給します

忙しい毎日の中に、新しい出会いと発見いっぱい春。新しい環境にも少しずつ慣れ始め、目の前の子どものために何が出来る? 子どもたちの笑顔を引き出すために、どんな工夫をしたら良い? そんなヒントを探しているあなた! みんなで学び合い、語り合う中で、一緒に「笑顔」の種を見つけませんか? 子どもたちと向き合うヒントや、明日への元気を持ち帰れる、そんな学習交流会を目指して只今準備中! 学校種の枠を超えて、たくさんの皆様の参加をお待ちしています!

ご紹介 講師 三木裕和さん  
障害児教育における教育目標・教育評価に関する研究を、学校教員や他大学教員とともに進めています。近年、教育目標・評価の客観性が強く求められる傾向にあります。子どもが子どもの内面理解に結びつき、教育実践の創造性を高めるためにはどうすればいいのかを検討しています。  
【著書】  
『希望でみちびく科学』  
『障害児教育ホントのねうち』  
\*講師紹介は、2面にもあります。





# ちんぷん 札幌支部へ

4月8日、札幌支部歓迎会が行われました。年度初めの土曜日、多忙な時期であることや「職場全体での全定合同歓迎会」が行われたところも多く、例年より少ない参加者の歓迎会でしたが、アットホームで気軽に話ができる楽し

いひとときでした。交流では、参加者全員から学校の様子や組合員でいることの思いなどをたくさん語られました。特別支援学校分会から参加された女性組合員は、「普段できない交流もできてよかった」「分代で共済学習を分会でやって欲しい」と本部

更科さんからのアピルがあったが、4・5月中に学校分会でみなさんに集まってもらうので来てほしい」と共済や組合加入をすすめる話も多くあり有意義な会となりました。

# 100周年祝いの講演が決定！ 香山リカさんの講演が決定！



札幌支部は、札幌市内の子育科会・あそびの広場など行っている教育に関わる多くの市民団体と共同して「さっぽろ〈子育て〉教育〈市民フェスティバル〉」を、毎年秋に行ってきました。2001年から始めて今年はいくつとも異なります。フェスティバルは、午前記念講演、午後にはテーマ討論・分

香山リカさんは定期的に新聞コラム欄にユニークなコメントを書いたりしていますが、著書に「香山リカの学力論―子どもたちにつけたい3つの力―」など

## 障害児学校「はるかく」 三木先生の話、魅力満点！

「先生の愛情たっぷり子どもたちにかかわる姿に感動して、一生懸命、涙をこらえました」「泣きました。笑いました。元気をもらいました。見方、感じ方が自分本位になっていることをとても気付かされました。」(「全国障害児学級・学校学習交流集会2017」三木先生の講座の感想)

関西弁で繰り出される心温まるお話の数々・・・優しいだけじゃない。ゆったりだけじゃない。科学的に裏打ちされたお話には、誰もが目からウロコです。「できる」「できない」という目に見える成果を望む今日この頃・・・

「人間を大切にすることなのではないでしょうか？ 忙しいけど、ほんとはもっと子どもと向き合いたいと思いませんか？ 優しいまなざしで子どもたちの成長を見続け、時にはパワフルな三木先生。

「明日から、子どもたちともっともっとかかわりたい！」 そんな風に思っただけの学びになると思います。(道高教組 書記次長 菱木淳一)

## 5月3日憲法記念日 憲法をあらためて考え、行動する日にしませんか

2つの集会・デモパレードに参加を

①10:30～大通西3丁目 スピーチ&パレード 憲法施行70周年―「安保関連法」廃止・「共同罪」阻止・守ろう憲法集会― 主催 戦争させない北海道委員会

②12:30～大通西6丁目 ゲスト 上田文雄&香山リカ 13:30～パレード 主催 道弁護士会連合会・札幌弁護士会

# 教員採用試験対策学習会が行われる 期限付き教職員へ職場からも激励を

4月22日、冷たい小雨の降る中、16名の教員志望の方が集まりました。午前中は講師の先生方による採用試験を受ける心構え、さらについて教師として子ども前に立つ心構えを中心とした講義でした。また、旭川商業の照本健さんによる合格体験記では、4回の挑戦の中

で培った働くルールを見直して「時間をつくる方法」通勤・勤務の合間の「隙間時間のつくり方」といった話から具体的な勉強のしかたとして「教材研究」「専門教養」などの実践的な濃い内容の話をしていただきました。「合格したい」ではなく「合格した」と自分に言い聞かせ、体験記では、4回の挑戦の中

# 希望者に対する任用率は80%を越えたが...

前号では、札幌支部関係の「再任用人事」についての状況をお知らせしましたが、今回は、全道的な状況についてお知らせします。高校教諭では、退職者数159、再任用希望者数114、再任用数98(フル81、短時間17)。特別支援教諭では同じく47、34、28(25、3)となっています。希望者に対する再任用率は、高校86%、特別支援82%と昨年に比べると高校でプラス12%、特別支援で、マイナス10%となっ

います。再任用率がどちらとも80%台を越える結果となり、任用率の改善がはかられてきています。再任用者に対する再任用率は、高校61%、特別支援59%と4割の退職者が道教委の責任で「雇用と年金の確実な接続」が行われていない状況になっています。今年度の退職者の中には、様々な事情から「自宅から離れた勤務地では働けない」とやむを得なく辞退せざるを得ない方や「とても生活できる収入は得られないが比較的近くの学校で時間講師をする」方も多くいました。61〜64までの過年度退職者の

るところに道はひらける」といふ言葉が印象的でした。自分には2億円(生涯賃金)の価値があるから買ってください雇ってくださいという心意気が頼もしいなあ〜と思いました。午後は、模擬授業・個人面接面指導の練習にじっくり時間をとりました。他の参加者の面接も一言漏らさず学んでいこうと皆さんキラキラとした目で熱心に学習・交流を深めました。参加者からのアンケートには「第2回・3回学習会にも是非

## 第2・3回 教員採用試験対策学習会のご案内

第2回 7月 8日(土)  
第3回 7月22日(土)  
いずれも 時間：10時～16時30分  
会場：高校教職員センター(大通西12丁目)

内容：①合格体験談 ②模擬授業対策 ③自己推薦書対策 ④面接対策  
参加費：2000円(組合員は、無料。旅費支給)

\*元校長先生が講師団となって、受験テクニックだけではなく、教職に就く心構えや試験突破の経験談などアドバイス。同じ思いを持つ参加者同士の「つながる場」ともなっています。  
\*申込は、学校の組合員へ、WEBサイトからでもできます

## 「短時間勤務」と「時間講師」兼務できない！

3月末に「ハーフと他校での時間講師が決まっていたのに、突然道教委から『それはできない』と言われた。どうなっている」と高教組に問い合わせがありました。さっそく道教委に確認した結果「条例によって『再任用』は常勤職員、時間講師は『特別職』扱いであり、常勤職員は特別職の仕事をして『報酬』を支給できないとされてい

にかわりはありません。再任用者の割合が高まる中で学校の運営の課題もあり、定数の拡大や定年延長が一層求められています。参加したい」と多数あり、次回も充実した学習会にしたいと思

未来の(できれば来年の)同僚の皆さん！早く一緒に働きたいです。楽しみにしています。

ることから、できない」との回答。まさに「木で鼻を括った」対応は許されません。そもそも「総務副大臣通知」などでも「再任用短時間勤務者」は営利企業も含めて「多様な働き方」が可能であるとしてい

